

## 鶴岡市観光客動向調査 第 2 号 ( 令和 2 年 12 月 )

## 【 第 2 号の概要 】

- ・ Go To トラベルの浸透などで回答数が増加。
- ・ 年代別では 60 代の割合が増加し、最も高く、70 代も増加。
- ・ 居住地別割合は、Go To 開始後も、県内、宮城県などは伸び悩む一方、東京を含む首都圏は、増加。
- ・ Go To の利用者は 9 割超。Go To 以降、宿泊費、土産費の予算は上昇傾向。

## 【 主な傾向など 】

- アンケートの回答者は、前回リポートの 3 月～8 月調査では 878 人に対して、9 月～11 月調査では 1,835 人となった。この期間の後半は、新型コロナ陽性者数が増加したが、Go To トラベルの浸透や地域共通クーポンの開始などが影響したとみられる。
- 年齢割合をみると、前回 50 代が最も多かったが、60 代が最も多くなり前回調査の 16.5%から 29.0%へ増加、70 代も 4.1%から 10.2%へ増加した。[ 図表① ]
- 回答者の居住地は、山形県が 36.8%で最も多く、以下、宮城県 12.0%、東京都 7.9%、新潟県 6.7%である。前回の 3 月～8 月期との比較にて、県別順位は同じだが、山形県が△4.3%、宮城県が△3.4%になり、東京都が+2.2%、新潟県が+1.4%となり、首都圏の割合が 15.0%から 21.2%となった。[ 図表② ]
- 各種割引制度の利用状況は、訪問者 9 割超が GoTo トラベルを利用している。9/15 から「県民泊まって元気キャンペーン」との併用が可能になったが、この利用者についても、約 9 割は GoTo トラベルと併用している。[ 図表③ ]
- 一人当たりの予算については、GoTo トラベルキャンペーン後、宿泊費、土産費の予算には上昇傾向が見られる。[ 図表④ ]

## 【 調査概要 】

- ・ 期 間 令和 2 年 9 月 1 日から 11 月 30 日 ( 調査継続中 )
- ・ 回答者 1,835 人 

前回 3 月 13 日～8 月 31 日 調査 878 人
2018 年調査では年 1,300 人程度
- ・ 方 法 宿泊・観光施設等で QR 付きカードを送付し、観光客がネット上で回答。
- ・ 協 力 静岡県立大学渡邊研究室